

「第17回新川森林祭」が開催されました

令和4年5月28日（土）、魚津桃山運動公園において、「第17回新川森林祭」が行われました。

新川地区では、平成10年から「新川森林祭」を開催し、植樹等を通じて健全な森林を育て、環境保全や潤いと安らぎの提供などにつなげるための地区独自の活動を行っています。

17回目となる今年は、桃山運動公園がメイン会場となった平成29年の全国植樹祭から5周年を迎えることや魚津市制施行70周年を記念して、同公園での開催となりました。魚津市、東部林業協会、新川森林組合の主催により、新川地域の林業関係者ら約160名が参加しました。

式典では、魚津花とみどりの少年団員と魚津市立の小学校の代表生が、「今日は、この魚津桃山運動公園を、美しい花が咲く木でいっぱいになります。これからも恵まれた自然を未来につなげていきます。」と元気いっぱいに宣言しました。

式典の後、魚津市の花木であるツツジにちなみサツキツツジ115本を屋内グラウンド横の階段脇に植樹しました。公園の正面玄関とも言える階段が、来年以降鮮やかな花で彩られるように、参加者のみなさんは心を込めて植樹に取り組んでいました。

今後もこうした取り組みが継続されるよう、新川農林振興センターとしてもしっかりと支援してまいります。



参加者みんなで集合写真



四十万副市長の挨拶



花とみどりの少年団員らによる宣言



当センター職員による植樹の実演



植樹の様子



植樹の様子



植樹の様子



植樹完了



記念標柱の設置完了